

特別講演会のお知らせ

演題：ゲノム病理学の最前線：癌治療を目指したNGS解析

演者：石川 俊平先生

(東京医科歯科大学難治疾患研究所ゲノム病理学分野 教授)

日時：平成26年11月12日（水） 17：30～18：30

場所：北海道大学医学部中棟3階 セミナー室3-1

主催：北海道大学大学院医学研究科 腫瘍病理学・探索病理学分野

共催：日本病理学会北海道支部

日本生化学会北海道支部

北海道分子生物学研究会

概要

近年、がん領域において、次世代シーケンサー（NGS）を用いたがんゲノム解析技術が発達し、ゲノム情報に基づいた病理診断、さらに有効な治療法の探索が急速に進んでいる。

びまん性胃がん（diffuse-type gastric carcinoma: DGC）は、胃がんの主要なサブタイプである低分子がんであり、線維組織の増殖増生を伴う硬い（スキルス性）間質を有することから、しばしば「スキルス胃がん」と呼ばれる。スキルス胃がんは、極めて悪性度の高い難治がんであり、これまで有効な分子標的治療薬がなく、その発がんメカニズムの解明や治療標的分子の同定が課題となっている。石川先生らは最近、スキルス胃がん組織からゲノムDNAを取り出し、次世代シーケンサーを用いて全エクソーム解析を実施、スキルス胃がん症例で高頻度に細胞運動・増殖制御に関わる*RHOA*遺伝子の機能獲得性変異（gain-of-function）が起きていることを見出され、これがスキルス胃がんの重要なドライバー変異であることを明らかにされた。本講演会では、NGSによるがんゲノム解析、変異プロファイルと臨床病理学的特徴との比較、創薬ターゲットの探索までのプロセスを概説して頂く。

連絡先：北海道大学大学院医学研究科 腫瘍病理学分野

田中 伸哉

(TEL: 011-706-5052)